



片平キャンパス歴史散歩

2019年 5月25日(土) 10:00~12:00



SMMA 見験楽学ツアー



【発行・連絡先】

仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
TEL 022-713-4483 / FAX 022-713-4482
E-mail office@smt.city.sendai.jp

SMMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

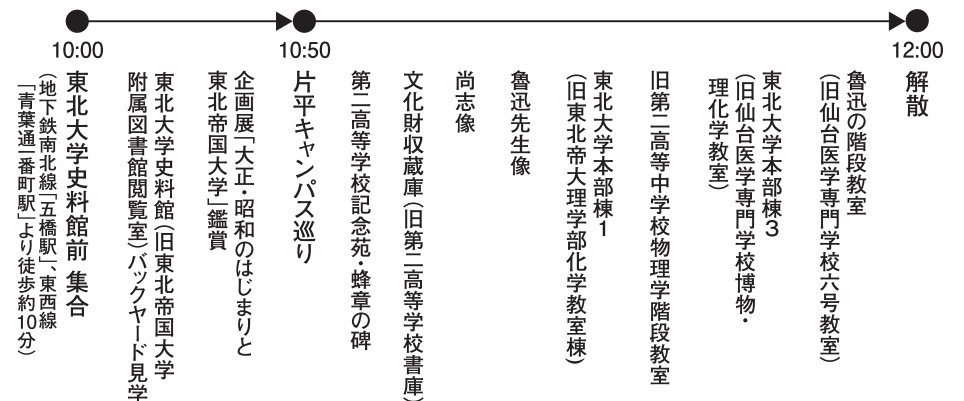
片平キャンパス歴史散歩

東北大学発祥の地である片平キャンパスは、1907(明治40)年の東北帝国大学創設以前から旧制第二高等学校や、仙台医学専門学校などの敷地としても使用されてきた長い歴史があります。これら片平キャンパスの建物の一部は2017年に東北大学として初めて登録有形文化財に登録されました。このツアーでは、普段はなかなか見学することができない施設を含め、キャンパス内に現存する特色ある近代建築や記念碑等を巡りながら、東北大学と片平キャンパスの歴史を紐解いていきます。

案内人 **加藤 諭** (東北大学史料館 准教授)

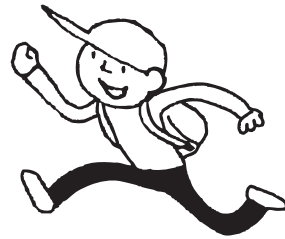
1978年仙台生まれ、東北大学文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。東京大学文書館特任助教を経て、2017年4月より東北大学史料館准教授。専門は日本近現代史(百貨店史)、大学史、アーカイブズ学。

コース



持ち物リスト

- ◆歩きやすい靴・服装
- ◆飲みもの
- ◆雨具
- ◆筆記用具



注意事項

- ◆大きな声で話すなど、地域の方に迷惑となる行為は謹んでください。
- ◆ツアールートには、道幅の狭い歩道などもあります。車などには十分注意し、各自責任を持って行動してください。特に、歩きながらのスマートフォンは大変危険ですので控えてください。
- ◆当日の天候などにより、コース内容を変更したり、中止したりすることがあります。
- ◆ツアー参加中のけがや病気、事故などについては、SMMA事務局で加入している保険(レクリエーション傷害保険)の適用内とさせていただきます。

ルートマップ



見どころ



東北大学史料館/旧東北帝国大学附属図書館閲覧室(1924年)

仙台市出身の小倉強氏(のちに東北帝国大学教授)が設計したネオ・ルネッサンス様式の建物で、1階は煉瓦張、2階は漆喰塗の外壁を有し、窓はアーチ型でまとめられ、建設当時の雰囲気をいまでも残しています。東北大学史料館の起源は、1963年に大学附属図書館内に大学の歴史に関する資料の保存・公開を目的とした「東北大学記念資料室」が開設されたことに始まります。1973年に附属図書館が川内地区へ移転したことから、記念資料室も一時片平キャンパスを離れますが、記念資料室のみ1986年にこの地へ戻りました。2000年に記念資料室は「東北大学史料館」として改編され、独立した運営を始めました。館内には東北大学の歴史をテーマとする常設展示室、魯迅記念展示室、企画展示室があり、東北大学の歴史とともに貴重な建造物の内部もじっくりと観察できます。

【企画展「大正・昭和のはじまりと東北帝国大学」】

「令和」がはじまりました。東北帝国大学は明治40(1907)年創立です。「大正」がはじまる時、「昭和」がはじまる時、大学は、大学関係者は、何を行っていたのでしょうか。大学の記録や儀礼用の装束等を展示・紹介します。また、7月に史料館企画展示「西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々」を開催します。西田の師でもあった北條時敬は大正天皇大礼時の総長でした。総長・教育者としての多彩な交流は今回の展示からもうかがえます。

見どころ

2

第二高等学校記念苑・蜂章の碑(1968年、1996年)

1887年創設の第二高等学校は、1889年に記念碑の立つ地に木造校舎が建てられました。この校舎は1945年の仙台大空襲により焼失し、三神峯へ移転しました。1950年には学制改革により第二高等学校が東北大学に包摂されることとなり、第二高等学校63年の歴史に幕を閉じました。その後、第二高等学校の同窓会尚志会による記念事業の一環で1968年に校歌碑がこの地に建立され、1996年には第二高等学校創立110周年を記念して新たに蜂章碑が建てられました。

3

文化財収蔵庫/旧第二高等学校書庫(1910年)

外壁の赤煉瓦は、小口と長手を交互に積むイギリス式が採用されています。また添え柱は3階から1階にかけて段階的に太くなるように作るなど、強固な建物を建設しようとする工夫が各所にみられます。1925年の大学移管後は、考古学資料の収蔵庫として利用され、現在は東北地方を中心とする旧石器時代から近世までの資料約20万点が収蔵されています。

POINT

【尚志像】

第二高等学校創立百周年を記念して1986年に二高青年のブロンズ彫刻像が制作されました。彫刻は宮城県出身の彫刻家・佐藤忠良が手掛けました。

【魯迅先生像】

魯迅は、1904年に仙台医学専門学校(現東北大学医学部)へ医学を学びに来日しますが、在学中のある出来事がきっかけで文学に転じました。その後、魯迅は近代中国を代表する人物となり、日中国交正常化20周年を迎えた1922年に生涯の転機となった仙台のこの地に胸像が建立されました。

4

東北大学本部棟1/旧東北帝国大学理学部化学教室棟(1927・1935年)

鉄筋コンクリート造の3階建て、外壁のスクラッチタイル貼り、玄関廻りの立派な石張りの柱を特徴とします。かつて理学部化学科の教室として利用されていましたが、理学部化学科の青葉山への移転後は、恐竜標本の保管庫として、2004年からは東北大学の本部棟として利用されています。第二次世界大戦後、占領軍による市街地建物の接収が行われ、当時この建物もその対象となっていました。この接収を防ぐために理学部の教授たちが、実験台の占める部屋として建物の図面を描き変えたという逸話があります。

5

旧第二高等中学校物理学階段教室(1989年頃)

下見板張りの外観と三角の大屋根が特徴的な建物で、片平キャンパスに現存する最古の建物です。現在は職員集会所として利用されています。当初はキャンパスの西側・片平丁に面して建てられていましたが、1933年頃に現在の場所へ移築されました。その後、建物内部の改修や外壁の塗り替えなど施されますが、往事の雰囲気やいまに残す歴史的な建造物です。

POINT

【知の館】

東北大学本部棟1に隣接している「知の館」は東北大学本部棟1と一体で建設された建物で1927年に完成した部分です。構造的に弱く、空き家状態が続いていましたが2015年に北側と東立面を復元改築し、滞在型研究施設として研究活動に活用しています。



東北大学本部棟3/旧仙台医学専門学校博物・理化学教室(1904年)

木造平屋建で外壁は下見板張となっており、内部は北側に片廊下が通り、南側に教室があります。旧仙台医学専門学校博物・理化学教室は2005年に改修されますが、建物自体は建設時から一度も移築されず、外壁も建設された明治期の姿を変えることなく残っています。片平キャンパスでは仙台大空襲で焼失した建物も多くありますが、旧仙台医学専門学校博物・理化学教室は戦災でも失われずに現存するととても貴重な建物です。現在は公開施設及び大学本部棟として利活用されています。

魯迅の階段教室/旧仙台医学専門学校六号教室(1904年)

二度の移築を経て向きを変え、現在は旧仙台医学専門学校博物・理化学教室の南側に建っています。建物内部は、東側に講壇を配した階段教室一室のみで構成されています。「近代中国の父」である文学者・思想家の魯迅が学んだ場所として知られ、「魯迅の階段教室」という呼称で親しまれています。そのため中国からの来訪者の名所となっており、1998年には江沢民主席(当時)が訪れ、国境を越えた歴史遺産となっています。



東北大学史料館 今後のイベント

◎西田幾多郎生誕の地・ゆかりの地交流事業 西田幾多郎と東北大学ゆかりの人々

学都・仙台で活躍したゆかりの人々と、現在の東北大学に受け継がれている哲学研究の特徴を、東北大学と西田幾多郎のふるさと石川に残る資料とともに紹介します。

会 期：7月1日(月)～7月31日(水)
時 間：10:00-17:00(土日祝は10:00-16:30)

※会期中無休

会 場：東北大学史料館 2階企画展示室
入場無料

主 催：石川県西田幾多郎記念哲学館

共 催：東北大学史料館

協 力：東北大学附属図書館



◎関連講演会

日 時：7月13日(土) 13:00-15:30(開場：12:30)

※講演会終了後、史料館でギャラリートークを行います。

会 場：東北大学片平さくらホール2階・会議室

講 師：野家 啓一(東北大学名誉教授)

加藤 諭(東北大学史料館 准教授)

定 員：先着 100名(※要申込み)

申込み：名前、住所、電話番号を西田幾多郎記念哲学館までお知らせください。

◎片平キャンパスツアー

日 時：7月13日(土) 10:00-11:30

案内人：加藤 諭(東北大学史料館 准教授)

定 員：先着 20名(※要申込み)

申込み：名前、住所、電話番号を西田幾多郎記念哲学館までお知らせください。

【問い合わせ・申込み先】

石川県西田幾多郎哲学記念館

TEL:076-283-6600 / FAX:076-283-6320

東北大学史料館 開催中のイベント

◎企画展「大正・昭和のはじまりと東北帝国大学」

「令和」がはじまりました。東北帝国大学は明治40(1907)年創立です。「大正」がはじまる時、「昭和」がはじまる時、大学は、大学関係者は、何を行っていたのでしょうか。大学の記録や儀礼用の装束等を展示・紹介します。

会 期：5月17日(金)～6月26日(水)
時 間：10:00-17:00 ※入館は16:30まで
休館日：土曜日、日曜日、祝日
会 場：東北大学史料館 2階企画展示室
入場無料



SMMA 今後のイベント

◎SMMA ミュージアムトークテラス 「女性ファッション雑誌の変遷・歴史」

美味しい料理や飲み物と一緒に、学芸員の話を楽しむトークプログラム。今回は、戦後の消費文化や流行発信の中で、女性ファッション雑誌がどのように展開し、雑誌の細分化が進んでいったのか、1970年代～2000年代までを通時的に捉えることで雑誌がけん引したおしゃれの系譜を考えます。

日 時：6月21日(金) 19:00-20:30 (開場:18:30)
会 場：せんだいメディアテーク1階 クレプスキュールカフェ
講 師：加藤 諭 (東北大学史料館 准教授)
定 員：先着 40名 (申込不要、直接会場へお越し下さい)
※1ドリンクオーダー制。フードメニューもあります。(飲食代実費負担)

仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)

仙台・宮城地域のさまざまな博物館が共通の知的資源として協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指して活動しています。



www.smma.jp

SMMA参加館

仙台うみの杜水族館



豊かな日本の海や自然環境を体感できる大水槽、海の生きものたちによる東北最大級のパフォーマンスなど様々なコンテンツを有する水族館です。

せんだい3.11メモリアル交流館



東日本大震災の記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎだし、未来へ、世界へとつないでいく拠点です。

スリーエム仙台市科学館



緑豊かな台原森林公園内に建ち、自然史系、理工系、生活系の3つの展示室のほか、岩石や植物の屋外展示もあります。

仙台市縄文の森広場



山田上ノ台遺跡で発掘された縄文時代のムラを、植生環境とともに復元しています。土器づくりなどの体験活動を実施しています。

仙台市天文台



口径1.3mの「ひとみ望遠鏡」やプラネタリウム、天文展示室等を備えた総合天文博物館です。

地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)



富沢遺跡から発見された2万年前の人間の生活跡と森林跡を保存し、公開しています。

仙台市博物館



伊達家寄贈文化財をはじめ、仙台に関わる歴史・文化・美術工芸資料等を収蔵し、常設展では随時約1,000点を展示しています。

セルコホーム ズーパラダイス八木山



世界各地に生息する約500点の動物たちを飼育・展示している東北最大の動物園です。

仙台市歴史民俗資料館



県内最古の洋風木造建築である旧陸軍兵舎を利用し、明治時代以降の仙台の歴史と人々の暮らしを紹介しています。

仙台文学館



明治以降の郷土ゆかりの文学者、土井晩翠や島崎藤村をはじめ、井上ひさし初代館長や現在活躍中の作家を紹介しています。

せんだいメディアテーク



図書館、ギャラリー、スタジオ、映像音響ライブラリーなどの機能を備えた、市民の美術や映像文化の活動拠点です。

東北学院大学博物館



東北学院大学の歴史・文化に関する研究成果をもとに、様々な展示・企画を行う大学博物館。学芸員養成の場としての役割も担う。

東北大学総合学術博物館



大学の研究者たちが世界中から集めた珍しい化石や鉱物、土器や石器、骨格標本、有孔虫、サンゴなどを展示しています。

東北大学史料館



東北大学の記録を保存・公開する日本初の施設で、大学の歴史や魯迅の展示などを行っています。登録有形文化財の建物も見所です。

東北大学植物園



東北大学が設立した自然植物園。仙台城築城後に引き継がれてきたモミの美林があり、天然記念物「青葉山」に指定されています。

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



人間国宝(型絵染)で日本を代表する染色工芸家芹沢銈介の作品と、氏が収集した世界の工芸品を紹介しています。

東北福祉大学・鉄道交流ステーション



東北福祉大学が運営する駅前の鉄道資料館。鉄道をテーマにした企画展と模型館を中心に広く一般の方にも大学をご利用いただけます。

(2019年5月現在)